

初夏に「雪」 もうすぐ満開

京大植物園でユクノキ

京大理学研究所付属植物園（京都市左京区北白川追分町）で、ユクノキの大ききく広げた枝一面につぼみをつけて白い花を咲かせ始めた。週末までに六、七年に一度という「満開」になりそう。

ユクノキはマメ科フジキ属で、ミヤマフジキとも呼ばれる。五月下旬から六月にかけての時期に一週間ほど小さな花をたくさん咲かせ、雪が枝や葉っぱに降り積もるような姿から「雪の木」と呼ばれている。

関東以西の山で見られるが市街地では少なく、高さ十メートルを超える



茶色のつぼみを一面につけ白い花を咲かせ始めたユクノキ
（京都市左京区・京大北部構内）

京大植物園の大きき木は、毎年開花を楽しみにしている人も多い。部分的に開花する年が多かったが、ことしは満開の年になった。

京大植物園の入園には事前の見学許可が必要だが、北部構内の基礎物理学研究所湯川記念館の横から、涼しげな姿を見ることができるとのこと。